

復興推進委員会 岩手県における現地調査について

実施日：平成25年6月1日～2日

訪問先：岩手県大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市

参加者：伊藤委員長、秋山委員、岩淵委員、田村委員、中田委員、松原委員

行程：

6月1日(土)

○大槌町

・現地視察(復興まちづくり大槌株式会社、三枚堂地区高齢者等サポート拠点エルサポートセンター)

○釜石市

・現地視察(鶴住居地区、平田地区コミュニティケア型仮設住宅、平田漁港)

6月2日(日)

○釜石市

・現地視察(岩手大学釜石サテライト)

○大船渡市

・現地視察(気仙医師会、酔仙酒造株式会社大船渡蔵)

○陸前高田市

・現地視察(道の駅「高田松原」、旧中心市街地、株式会社八木澤商店※)

※株式会社八木澤商店の取組は、一関市にある大原工場にてヒアリング。

主な内容：

- ・大槌町においては、高台から町の被災・復興状況について説明を受けるとともに、「復興まちづくり大槌株式会社」のまちづくりを中心とした取組や、「三枚堂地区高齢者等サポート拠点エルサポートセンター」にて高齢者等に対する取組について説明を受けた。
- ・釜石市においては、「鶴住居地区」にて区画整理事業の概要について説明を受けるとともに、高齢者標準社会づくりの参考として「平田地区コミュニティケア型仮設住宅」にて被災地における仮設一体型の介護事業の具体的な取組や、平田漁港にて被災・復興状況について説明を受けた。また、「岩手大学釜石サテライト」では、岩手大学を中心とした被災地における産学官連携の取組について説明を受けた。
- ・大船渡市においては、被災地における医療の現状と課題について「気仙医師会」から説明を受けるとともに、「地域資源」の観点から、「酔仙酒造大船渡蔵」にて、いち早く操業を再開した酔仙酒造の取組について説明を受けた。
- ・陸前高田市においては、道の駅「高田松原」や旧中心市街にて被災状況や陸前高田市被災市街地復興整備事業について説明を受けた。また、八木澤商店については大原工場にて、クラウドファンด์を活用した事業の再開について説明を受けた。